科目ナンバリング	U-LAS02 20015 SJ36						
授業科目名<英訳>	日本近代文学基礎ゼミナール Introductory Seminar on Japanese Modern Literature II			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　須田　千里		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

梶井基次郎の短篇小説を読む。

梶井基次郎は旧制三高で学んだ、いわば先輩に当たる。また、繊細で幻想的な作風は根強いファンを持っている。
この授業ではその短編集『檸檬』を取り上げ、皆で分担して読み、作品内容の理解・注釈・先行論文の読解による新たな作品像の構築を目指す。意見交換することによって、お互いの知見を高めていきたい。

[到達目標]

受講生は、自分が担当した作品について、自分なりのアプローチを行いながら、それを自分の言葉で論理的に発表できるようになる。ほかの受講生は、当該作品に関して素朴な疑問や発表内容への質疑を通じて、批判的読解力の養成を行い、作品理解を深めることができるようになる。
発表者と他の学生との質疑、意見交換により、互いに相手の考え方を理解し、自分の考えを明確に述べることができるようになる。

[授業計画と内容]

１.ガイダンス（授業の進め方など）と梶井基次郎の概説、授業の進め方の説明。
受講者各自で教科書から好きな作品を選び、順番を決めて発表していく。発表に際しては、作品のあらすじ、語句の注釈を行った上で、自分独自の論点を文章にまとめ、レジュメとして配布し、30分程度で発表する。残りの60分程度は、他の受講生との質疑応答や意見交換に費やされる。
２～１４．教科書に掲載された以下の作品について、受講生が適宜好きな作品を選んで発表し、みなで質疑応答を行う。
「檸檬」「城のある町にて」「泥濘」路上」「橡の花」「過古」「雪後」「のんきな患者」「ある心の風景」「交尾」「Kの昇天」「闇の絵巻」「冬の日」「愛撫」「桜の木の下には」「ある崖上の感情」「器楽的幻覚」「冬の蝿」「蒼穹」「筧の話」
１５．フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点(質疑や意見表明の回数、内容)40パーセント、発表(論理的に自分の言葉で発表できたかや、質疑での他の受講生とのやり取りの成熟度)60パーセント。
5回以上欠席した者は、成績評価の対象としない。

日本近代文学基礎ゼミナール(2)へ続く↓↓↓

日本近代文学基礎ゼミナール(2)

[教科書]

梶井基次郎『檸檬』（新潮文庫）ISBN:978-4-10-109601-8

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

発表担当の学生は、各自がＡ４プリント3～4枚程度にレジュメをまとめ、発表する。そのための作成時間が必須である。
受講生は、発表者の意見や教員の話がより深く理解できるよう、事前に教科書を読み、関心のある点・気に掛かる点・分からない点などを事前に考えておく。その上で授業に出席し、質問や意見を述べる。

[その他（オフィスアワー等）]

積極的に発言すること。
教室の規模に応じて受講者数を制限する。
発表順は早い者勝ちかじゃんけんで決めるので、スケジュール調整しておくこと。発表時の無断欠席は単位なし。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部